KO PROPO®

AC/DC 4 in1
充電＆放電器

MX-301

取扱説明書

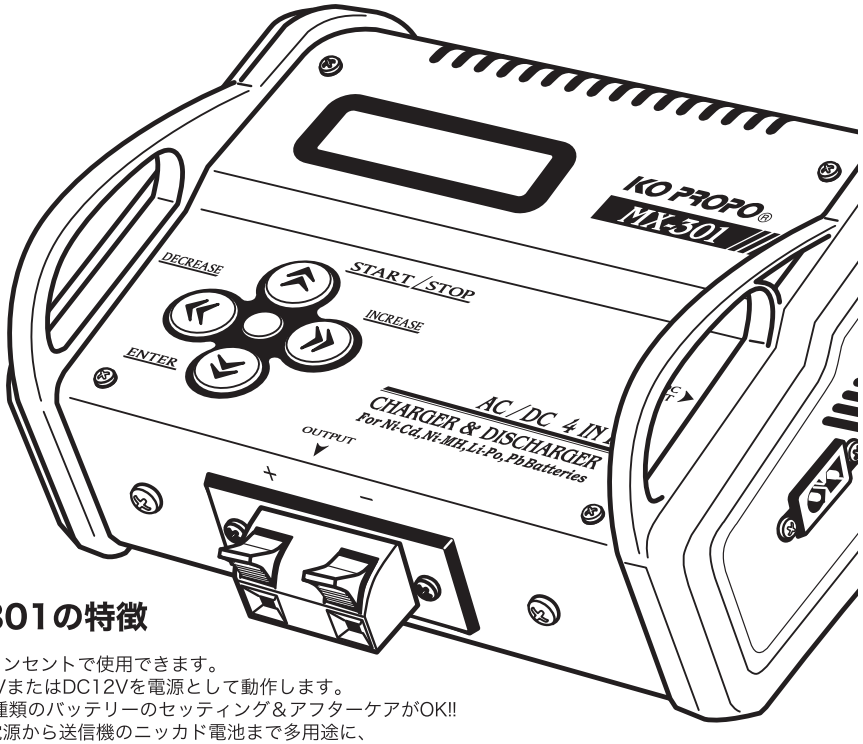
必ず確認するページ
電源を接続する
操作方法・画面の説明
ニッカド / ニッケル水素 を使う
リチウムポリマー を使う
鉛蓄電池 を使う
索引・製品仕様

※この取扱説明書では、電池の種類について
次のような略字で表記しています。

ニッカド（ニッケルカドミウム）	: Ni-Cd
ニッケル水素	: Ni-MH
リチウムポリマー	: Li-Po
鉛蓄電池、鉛バッテリー	: Pb

このたびは『MX-301』をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この説明書は、安全を守るための注意事項と本製品『MX-301』の取り扱いについて示しています。

⚠危険 本製品をご使用の前に、お使いになるバッテリーの取扱説明書とあわせてよくお読みの上、製品を正しくお使いください。
お読みになった後は製品本体と一緒に保管し、必要なときにご確認ください。



MX-301の特徴

●家庭用コンセントで使用できます。
AC100VまたはDC12Vを電源として動作します。
●1台で4種類のバッテリーのセッティング＆アフターケアがOK!!
動力用電源から送信機のニッカド電池まで多用途に、
充電とトリクル充電、放電、リフレッシュ充電・サイクリングが可能です。
※リフレッシュ充電とサイクリングはNi-Cd, Ni-MHのみの対応です。

必ず確認するページ

安全上のご注意

本製品は、内部に電子部品を使用する精密機器です。誤った使用や保管方法は、製品の故障および事故につながる危険がありますので、必ずお守りいただくことを次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 危険	この表示は〔死亡または重症を負う危険性が高い可能性で発生することが想定される〕内容です。
⚠ 警告	この表示は〔死亡または重症を負う危険性が想定され、高い頻度で物損事故が発生する〕内容を示しています。
⚠ 注意	この表示は〔傷害を負う可能性または物損事故が発生することが想定される〕内容を示しています。

⚠ 危険

●本製品を模型用バッテリーおよび鉛蓄電池の充電・放電以外の用途に使用しないでください。※事故の原因につながりますのでおやめください。
●充電・放電電流および放電終了電圧の設定は必ずバッテリーの取扱説明書に従い、不明な場合はバッテリーのメーカーに確認してください。※過大電流による充電・放電はバッテリーを液漏れ、発熱、破裂、発火させる原因となります。
●自動車内で充電・放電をしないでください。※温度上昇、車体とのショート、その他事故を避けるため、必ず車から十分に離して使用してください。
●充電・放電中は本製品や使用中のバッテリーに身体(特に顔)を近づけないでください。※万一の時、身体に危険が及ぶおそれがあります。
●充電・放電中に万一バッテリーから液漏れがあった場合、液を目に入れないよう注意してください。※失明のおそれがあります。目に入った場合は多量の水で流し、直ちに医師の治療を受けてください。
●バッテリーを運搬する際は本製品や金属と一緒に持ち運ばないでください。※バッテリーおよび本製品の各端子をショートさせないでください。
●本製品を清掃する際は必ず不燃性のクリーナーを使用し、電源用接続コードとバッテリーを全てはずした後に行ってください。※引火のおそれがあります。
●本製品を使用する際に引火性のあるもの、可燃性のものを近づけないでください。※電源、バッテリーへの接続時に接点から火花が出ることがあり、引火の原因になります。
●バッテリー接続端子に複数のバッテリーやバッテリー接続コードを接続しないでください。※バッテリー同士がショートするおそれがあり、液漏れ、破裂、発熱、発火の原因になります。
●キズ、変形、液漏れの見られるバッテリーは充電・放電をしないでください。※バッテリーを破裂、発熱、発火させる原因となります。
●DC12V電源で充電器を使用する場合は、電源接続コードおよびワニグチクリップの＋，－の極性を正しく接続してください。※＋，－を逆に接続すると充電器を故障、発火させる原因になります。
●直射日光の強いところ、ストーブの近くなど高温が予測される場所での使用、放置はしないでください。※バッテリーが破裂、発火する原因になるほか、本製品の発熱・故障の原因にもなります。
●本製品内部に金属等の異物を入れないようご注意ください。※入った時は修理を依頼してください。
●充電・放電の設定を必ず確認し、バッテリーに適合する設定で作業してください。※誤った設定での充電・放電はバッテリーを液漏れ、破裂、発熱、発火させるおそれがあります。

⚠ 警告

●本製品のケースを開けたり分解・改造をしないでください。※故障・事故の原因につながります。
●水や海水などで濡らしたり、湿気が多いところへ持ち込まないでください。※故障の原因となります。水に濡れた場合は使用せず、修理を依頼してください。
●本製品を熱によって発火や変形のおそれがある物の上に置いたり、そのような物の近くで使用しないでください。※本製品は正常な動作中でも熱くなることがあります。
●直流電源は10A以上の電流を流せる安定化電源、または容量が20Ah以上の12Vバッテリーを使用し、安定化電源を使用する場合は家庭電器用品取締法に適合したPSEマーク付きの機器を使用してください。交流電源の場合は必ず家庭用AC100V電源コンセントをご使用ください。※その他の電源装置・指定条件以外の電圧では使用しないでください。
●新しいバッテリーと使用したバッテリー、容量、種類、メーカーの違うバッテリーを混ぜて充電しないでください。※バッテリーが異常な化学反応を起こし、液漏れ、破裂、発熱、発火する原因となります。
●冷却ファンの隙間に指や異物を入れないでください。※故障や指などを傷つけるおそれがあります。
●充電中、常に注意・監視を行い異常事態に対処できるように準備してください。※異常な発熱や異臭に気づいたら使用しないでください。
●子どもが使用する場合には大人が安全を確保してください。※保護者が取扱説明書の内容を十分に教え、正しく使用されているかをご注意ください。
●充電・放電は0℃～４０℃の温度範囲で行ってください。※範囲以外での充電・放電はバッテリーの液漏れや発熱により、性能や寿命が低下します。
●バッテリーを本製品に接続したまま電源接続コードを脱着しないでください。※機器が破損します。

⚠ 注意

●車載用鉛蓄電池およびラジコン模型用バッテリー以外に使用しないでください。
●電源接続コードが擦り切れたり、傷がついた場合は修理に出してください。
●強い衝撃を与えないでください。
●充電・放電しないときは本製品から必ずバッテリーと電源をはずしてください。

DC12V電源で使う

①安定化電源装置を使用する場合は、電源の出力がON（12Vの電圧が安定して出力されている状態）であることを確認してください。

②本体側面のDC12V電源用接続コード差し込み口へ付属の接続コードを接続します。

③DC12V電源にDC12V電源用接続コードのワニグチクリップを接続します。接続の際は電源とワニグチクリップの極性が合っていることを確認して、正しく接続してください。

④ブザー音と共に初期表示（詳細は次ページ）がLCD画面に出ます。

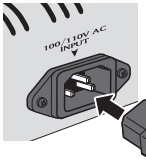
⚠警告 **●安定化電源装置を使用する場合は製品仕様（P.12）を確認し電圧と電流を適正に調整してください。出力が不安定なまま接続すると、充電器が暴走するおそれがあります。※調整の方法、使用の手順は電源装置によって異なります。電源装置の取扱説明書を参照して安全に行ってください。**

AC100V電源で使う

①AC100V電源用接続コード差し込み口へ付属の接続コードを差し込みます。

②家庭用AC100V電源コンセントへ付属の接続コードを差し込んでください。

③ブザー音と共に初期表示（詳細は次ページ）がLCD画面に出ます。

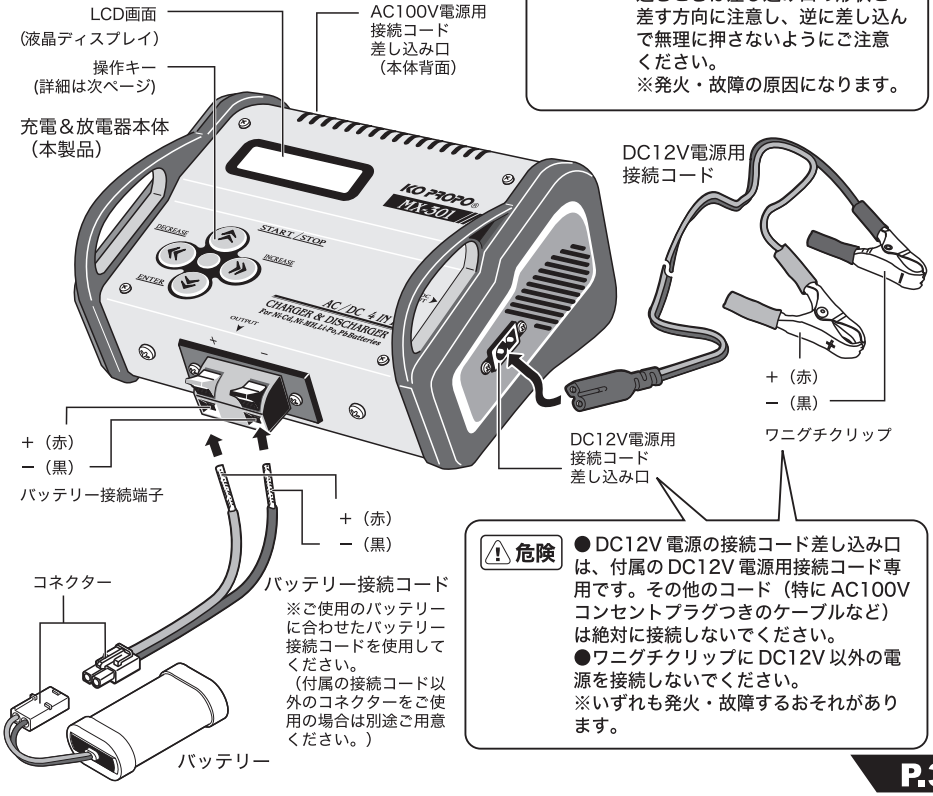


AC100V電源用
接続コード

家庭用
AC100V電源
コンセントに接続

⚠警告 **●接続コード・接続端子をショートさせたり、極性を逆に取り付けないでください。**
●コネクター・接続端子を差し込むときは差し込み口の形状と差す方向に注意し、逆に差し込んで無理に押さないようにご注意ください。
※発火・故障の原因になります。

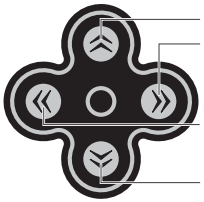
各部名称



⚠危険 **●DC12V 電源の接続コード差し込み口は、付属の DC12V 電源用接続コード専用です。その他のコード（特に AC100V コンセントプラグつきのケーブルなど）は絶対に接続しないでください。**
●ワニグチクリップに DC12V 以外の電源を接続しないでください。
※いずれも発火・故障するおそれがあります。

充電後の操作はP.11です。

[1] 操作キー名称

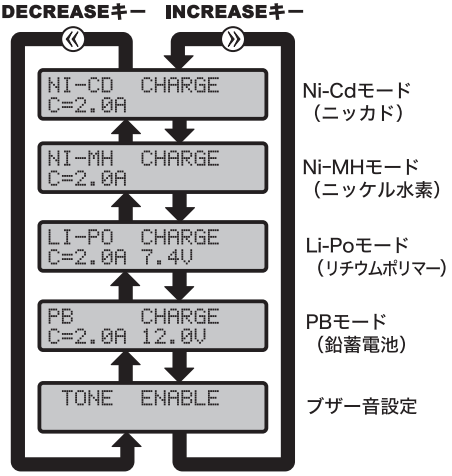


[2] 初期表示

電源をつなぐと最初に表示される画面です。

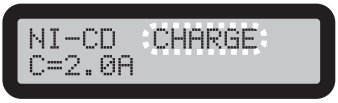
[3] バッテリーモード・設定の選択

初期表示の画面から、INCREASEキーまたはDECREASEキーを押すと、順に各バッテリーモードの設定画面とブザー音の設定画面を表示します。



[4] 設定変更・決定

ENTERキーを押すと設定を変更できる項目が順に切り替わります。
設定可能な項目は文字が点滅で表示され、INCREASEキーまたはDECREASEキーを押すと、設定値が変更できます。



[5] 充電・放電の電流値設定および放電終了電圧について

電流・電圧の値はバッテリーの種類、容量、性能などによってそれぞれ設定が異なります。設定内容は必ずバッテリーの取扱説明書に従い、取扱説明書に記載がない場合はバッテリーの製造メーカーに確認して適切な値を設定してください。

[6] 設定を確認してください。

設定を完了してSTART / STOPキーを押すと、下の画面が表示され、通常は自動で消えてスタートします。表示が消えない時はバッテリーと設定を再度確認してください。

[7] 充電・放電の中止

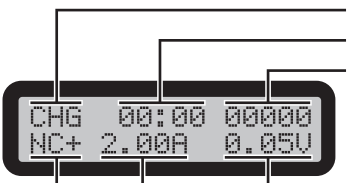
START / STOPキーを押すと充電・放電が停止します。
その後もう一度START / STOPキーを押すと、各モードの設定画面に戻ります。

[8] ピーク電圧の表示

充電終了後にENTERキーを押します。押している間、画面にピーク電圧が表示されます。
（バッテリーをはずすとリセットされます。）

[1] ステータス表示画面の見方

充電中または放電中に表示される画面表示の詳細です。



【現在の状態】CHG : 充電 / DHG : 放電

【現在の状態】充電または放電時間

【現在の状態】充電または放電容量

【現在の状態】充電または放電電圧

【現在の状態】充電または放電電流値

【設定の表示】 NC : ニッカド , MH : ニッケル水素 ,
LI : リチウムポリマー , PB : 鉛蓄電池
充電 : ＋ , 放電 : ー , 放充電 : ＊

[2] エラー表示一覧

START / STOP キーを押すとリセットされます。

エラー画面表示	エラーになっている内容	対応
[Error] REVERSE POLARITY	バッテリーの端子が逆に接続されています。	①バッテリーコネクターの極性が正しいか確認します。 ②バッテリーコネクターを正しい方向に差し込みます。
[Error] OUTPUT SHORT	充電器の出力端子がショートしています。	①充電器の出力端子が正しい状態か確認してください。 ②バッテリー側に異常がないか確認してください。
[Error] OPEN CIRCUIT	バッテリーが接続されていません。	①バッテリーが正しく接続されているか確認してください。 ②バッテリーが不良でないか、接触不良でないか点検します。
[Error] OVER VOLTAGE	セル数が多いなど、設定内容に対して接続したバッテリーの電圧が高くなっています。	設定した内容がバッテリーに合っているか確認します。
[Error] LOW VOLTAGE	セル数が少ないなど、設定内容に対して接続したバッテリーの電圧が低くなっています。	①設定した内容がバッテリーに合っているか確認します。 ②使用しているバッテリーが不良でないか確認します。
INPUT POWER VOLTAGE ERROR	AC100V電源で電源電圧が足りない、またはDC電源の入力が10.5V以下に降下しています。	①電源の電圧を確認します。 ②充電器の電源にバッテリーを使用している場合は、電源のバッテリーを充電します。

ニッカド（Ni-Cd），ニッケル水素（Ni-MH）を使う 充電 放電 放充電

⚠ 警告 操作の前に使用するバッテリーの種類と充電電流・電圧を確認し、適切な設定で使用してください。

充電

操作例）7.2V 3300mAh Ni-MHバッテリーを充電する場合

① Ni-MHモードの画面を表示する

表示方法は P.4[3]

表示したらENTERキーを押す

② Ni-MH 充電 (CHARGE) を選択

選択方法は P.4[4]

表示を確認してENTERキーを押す

③ 充電電流を設定 ※図の設定値は操作例です

設定値は P.4[5]

設定したらSTART / STOPキーを押す（P.4[6]参照）

④ 充電スタート

終了表示は P. 11

充電の中止 P.4[7] ピーク電圧 P.4[8] 画面の見方 P.5[1] エラー一覧 P.5[2]

放電

操作例）6V 600mAh Ni-Cd 受信機用バッテリーを放電

① Ni-Cdモードの画面を表示する

表示方法は P.4[3]

表示したらENTERキーを押す

② Ni-Cd 放電 (DIS CHARGE) を選択

選択方法は P.4[4]

表示を確認してENTERキーを押す

③ 放電電流を設定 ※図の設定値は操作例です

設定値は P.4[5]

設定値を変更したらENTERキーを押す

④ 放電終了電圧を設定 ※図の設定値は操作例です

設定値は P.4[5]

設定したらSTART / STOPキーを押す（P.4[6]参照）

⑤ 放電スタート

終了表示は P. 11

充電の中止 P.4[7] 画面の見方 P.5[1] エラー一覧 P.5[2]

放充電

操作例）7.2V 2000mAh Ni-Cdバッテリーを放電後、充電

① Ni-Cdモードの画面を表示する

表示方法は P.4[3]

表示したらENTERキーを押す

② Ni-Cd 放充電 (DISC→CHG) を選択

選択方法は P.4[4]

表示を確認してENTERキーを押す

③ 放電電流を設定 ※図の設定値は操作例です

設定値は P.4[5]

設定値を変更したらENTERキーを押す

④ 放電終了電圧を設定 ※図の設定値は操作例です

設定値は P.4[5]

設定値を変更したらENTERキーを押す

⑤ 充電電流を設定 ※図の設定値は操作例です

設定値は P.4[5]

設定したらSTART / STOPキーを押す（P.4[6]参照）

⑥ 放電スタート

終了表示は P. 11

充電の中止 P.4[7]　ピーク電圧 P.4[8]　画面の見方 P.5[1]　エラー一覧 P.5[2]

■放充電機能を活用する■

【リフレッシュ充電】

バッテリーを適切な電圧になるまで放電してから充電すること。

用途：メモリー効果を防ぐ

Ni-Cd、Ni-MHバッテリーは充電した後、適切に放電しないまま追充電を繰り返すとバッテリーの容量が減ります（メモリー効果）。
リフレッシュ充電をするとこの現象を防ぐことができます。

【サイクリング】

放電と充電を繰り返すこと。

用途：使わずに長期間眠っていた
バッテリーを使用可能にする

バッテリーを放置しておくと、時間の経過とともにバッテリーが自然放電し、過放電の状態に陥ることがあります。
自然放電による過放電で失われたバッテリーの容量と電圧は、サイクリングを行うと回復することができます。
（バッテリーの保存状態により、保存前の容量・電圧までは完全に戻らない場合があります。）

放電終了電圧の考え方

放電終了電圧は放電を行い、放電を停止する電圧です。

例）6セルのバッテリーを1セルあたり0.9Vで終了させたい場合

6（セル）×0.9（V）=5.4（V）

→この例では5.4Vに設定します。

危険

Li-Po（リチウムポリマー）バッテリーは、取り扱いを誤ると高い確率で爆発、炎上するおそれがあります。ご使用の前に安全上のご注意（P.2）と以下の注意事項を再度ご確認の上、バッテリーの取扱説明書を手元に用意して正しくお使いください。

●バッテリーの取扱説明書を確認し、本製品の機能および出力電流で充電・放電が行えるバッテリーであることを必ず確認してください。
※充電・放電の設定はバッテリーの取扱説明書を確認しながら正確に行ってください。

●充電・放電を行う前に、バッテリーの外見を十分検査してください。被覆に傷のないこと、外形に凹みや膨らみ等がないこと、リード線に異常がないことを必ずご確認ください。
※内容物の化学変化による変形、および外的衝撃によって変形を起こしたバッテリー、一度ショートしたバッテリーは使用中に発熱・炎上する危険性があります。

●使用温度に注意し、バッテリーの温度は充電・放電中に0℃～40℃の範囲を超えないように注意してください。また周辺環境についても高温、直射日光を避け、上記の温度を超えない場所で使用してください。
※充電・放電を行う前は、周辺の気温と同じ温度になるまでバッテリーを休ませてください。

●本製品への接続時、バッテリー端子部に身体および導電性のある異物を触れないよう特にご注意ください。
※ショートするおそれがあります。

●使用中に異常と思われる現象（発熱、異常音、異臭、発煙、外形の膨張など）を確認した場合は直ちに使用を中止し、危険に備えて速やかにバッテリーを可燃物から隔離するとともに、バッテリーから離れて経過を観察してください。
※遅れて発火する場合があるため、少なくとも15分以上観察を続けてください。安全を確認するまではバッテリーに可燃物を近づけたり、身体を触れないようにしてください。

●保管・管理はバッテリーの取扱説明書に従って正しく行ってください。不適当な環境に放置されたバッテリー、液漏れを起こしているバッテリーは充電・放電せず、速やかに廃棄してください。
※内容物の変質により、バッテリー内部が不安定になっているおそれがあります。バッテリーの廃棄方法はバッテリーの取扱説明書に従い、不明な場合は必ずメーカーに確認してください。

●種別が『リチウムポリマー 』以外のリチウムバッテリー、改造したバッテリーは絶対に使用しないでください。
※爆発、炎上、あらゆる危険につながります。

危険　充電電流と定格電圧の設定を誤るとバッテリーの爆発・発火等のおそれがあります。

充電

操作例）7.4V 1320mAh Li-Poバッテリーを充電する場合

① Li-Poモードの画面を表示する

表示方法は P.4[3]

表示したらENTERキーを押す

② Li-Po 充電 (CHARGE) を選択

選択方法は P.4[4]

表示を確認してENTERキーを押す

③ 充電電流を設定　※図の設定値は操作例です

設定値は P.4[5]

設定値を変更してENTERキーを押す

③ 充電電圧を選択　※図の設定値は操作例です

設定値は P.4[5]

設定したらSTART / STOPキーを押す（P.4[6]参照）

④ 充電スタート

終了表示は P. 11

放電の中止 P.4[7]　ピーク電圧 P.4[8]　画面の見方 P.5[1]　エラー一覧 P.5[2]

放電

操作例）7.4V 1320mAh Li-Poバッテリーを放電する場合

① Li-Poモードの画面を表示する

選択方法は P.4[3]

```
LI-PO  CHARGE
C=2.0A 7.4V
```

表示したらENTERキーを押す

② Li-Po 放電 (DIS CHARGE) を選択

選択方法は P.4[4]

```
LI-PO  DISCHARGE
D=0.5A END=6.0V
```

表示を確認してENTERキーを押す

③ 放電電流を設定 ※図の設定値は操作例です

設定値は P.4[5]

```
LI-PO  DISCHARGE
D=1.3A END=6.0V
```

設定値を変更してENTERキーを押す

④ 放電終了電圧を選択 ※図の設定値は操作例です

設定値は P.4[5]

```
LI-PO  DISCHARGE
D=1.3A END=6.0V
```

設定したらSTART / STOPキーを押す（P.4[6]参照）

⑤ 放電スタート

終了表示は P. 11

```
DHG  00:00 00000
LP- 1.30A  7.05V
```

放電の中止 P.4[7]　画面の見方 P.5[1]　エラー一覧 P.5[2]

■リチウムポリマーの長所と短所■

Li-Poバッテリーは、小型でありながら大容量と高い起電力を持ち、Ni-Cd、Ni-MHバッテリーのようなメモリー効果がありません。内容物の性質が液体でないため、バッテリー形状の自由度が高く、外装も軽量化できるなどの大きな利点があります。

ただし本体は可燃性なので発火すると炎上しやすく、小さなボディに大きなパワーを詰め込んでいるため、他の種類のバッテリーに比べると爆発してしまった場合に大きな被害を招く傾向にあります。

内容物に関してもデリケートな性質があり、75℃以上の環境で2時間以上放置すると劣化が進み、発火する場合もあると言われています。

■安全に使用するために■

Li-Poバッテリーを使用する際は周辺環境によく注意しましょう。
充放電中も経過をしっかり観察し、作業スペースからバッテリーが落下したりショートしないよう、慎重な扱いを心がけてください。

また、新しいタイプのバッテリーのために同じLi-Poバッテリーでも保護機能の有無などに差が見られ、取り扱いに特に注意が必要なものもあります。
Li-Poバッテリーを使用する時はバッテリーの特徴や取り扱い方法を十分に理解した上で選定し、信頼できる商品を購入するようにしましょう。

鉛蓄電池（Pb）を使う 充電 放電

危険 車などに接続および搭載したままでバッテリーを充電・放電しないでください。事故につながります。

警告 操作の前に使用するバッテリーの種類と充電電流・電圧を確認し、適切な設定で使用してください。

充電

操作例）2V 3Ah 鉛蓄電池を充電する場合

① Pb モード画面を表示する

選択方法は P.4[3]

```
PB      CHARGE
C=2.0A  12.0V
```

表示したらENTERキーを押す

② Pb 充電 (CHARGE) を選択

選択方法は P.4[4]

```
PB      CHARGE
C=2.0A  12.0V
```

表示を確認してENTERキーを押す

③ 充電電流を設定 ※図の設定値は操作例です

設定方法は P.4[5]

```
PB      CHARGE
C=3.0A  12.0V
```

設定値を変更したらSTARTキーを押す

④ 充電電圧を選択 ※図の設定値は操作例です

設定方法は P.4[5]

```
PB      CHARGE
C=3.0A  2.0V
```

設定したらSTART / STOPキーを押す（P.4[6]参照）

⑤ 充電スタート

終了表示は P. 11

```
CHG   00:00 00000
PB+ 3.00A  1.13V
```

充電の中止 P.4[7] ピーク電圧 P.4[8] 画面の見方 P.5[1] エラー一覧 P.5[2]

放電

操作例）12V 2Ah 鉛蓄電池を放電する場合

① Pb モード画面を表示する

選択方法は P.4[3]

```
PB      CHARGE
C=2.0A  12.0V
```

表示したらENTERキーを押す

② Pb 放電 (DIS CHARGE) を選択

選択方法は P.4[4]

```
PB      DISCHARGE
D=0.5A  END=10.8V
```

表示を確認してENTERキーを押す

③ 放電電流を設定 ※図の設定値は操作例です

設定方法は P.4[5]

```
PB      DISCHARGE
D=2.0A  END=10.8V
```

設定値を変更したらENTERキーを押す

④ 放電終了電圧を設定 ※図の設定値は操作例です

設定方法は P.4[5]

```
PB      DISCHARGE
D=2.0A  END=10.8V
```

設定したらSTART / STOPキーを押す（P.4[6]参照）

⑤ 放電スタート

終了表示は P. 11

```
DHG   00:00 00000
PB- 2.00A  11.61V
```

放電の中止 P.4[7] 画面の見方 P.5[1] エラー一覧 P.5[2]

ブザー音を消す

① ブザー音設定画面を表示する

表示方法は P.4[3]

ENTERキーを押す

② ブザー音なし(DISABLE)を選択

選択方法は P.4[4]

ENTERキーを押す

③ ブザー音なしに設定完了

充電終了→リセット時の表示

① 終了表示

ピーク電圧 P.4[8]

ENDとCHGが交互に点灯します。

② バッテリーをはずすと

START / STOPキーを押すとリセットします

①各モードの設定画面にもどる

トリクル充電（Ni-Cd , Ni-MHモードのみ）

※図の画面表示は参考例です。実際の表示とは異なります。

① 終了表示(自動でトリクル充電開始)

ピーク電圧 P.4[8]

START / STOPキーを押すとトリクル充電を中止します

マニュアル操作で追い充電をするには

※図の画面表示は参考例です。実際の表示とは異なります。

① 終了表示

ピーク電圧 P.4[8]

START / STOPキーを押す

② 追い充電開始

START / STOPキーを押すと追い充電を中止します

製品のお問い合わせ・修理について

バッテリーに関するご質問については、弊社製品に限らせて頂きます。ウェブページで公開中の最新情報もご覧ください。

http://www.kopropo.co.jp

修理を依頼される場合

お手数ですが製品と次の項目をまとめたレポートを同梱の上、下記までご連絡ください。

- ●本製品の機種名
- ●トラブルの状況
- ●ご使用時の環境・使用したバッテリーの種類
- ●ご住所・お名前・電話番号
  （弊社営業時間中に連絡可能な電話番号）

製品のお問い合わせ

近藤科学株式会社　サービス部

〒116-0014　東京都荒川区東日暮里 4-17-7
TEL 03-3807-7648（サービス部直通）
土･日･祭日を除く9:00～12:00 , 13:00～17:00

索引・製品仕様

●安全上のご注意……P.2
●初期表示……P.4
●充電・放電の中止……P.4
●ピーク電圧表示……P.4
●ステータス表示画面（充放電中の表示）……P.5
●サイクリング……P.7
●リフレッシュ充電……P.7
●リチウムポリマーご使用上のご注意……P.8
●製品お問い合わせ・修理について……P.11
●ブザー音を消す……P.11

製品仕様

用途　模型用バッテリーおよび鉛蓄電池の充電・放電

電源電圧　AC 100V / DC12V
※DC12V電源：
10A以上の安定化電源または
20Ah以上の鉛蓄電池

寸法　161×144×83 mm（突起部を除く）

重量　638 g

付属品
AC100V電源用接続コード　1本
DC12V電源用接続コード　1本
バッテリー接続コード　2本

充電･放電可能電池
ニッカド　(Ni-Cd)　1〜10セル
300〜5,000mAh
ニッケル水素(Ni-MH)　1〜10セル
300〜5,000mAh
リチウムポリマー(Li-Po)　1〜4セル
300〜4,000mAh
3.7V　(1セル) , 7.4V　(2セル)
11.1V (3セル) , 14.8V (4セル)
鉛蓄電池　(Pb)
300〜5,000mAh
2V, 6V, 12V

充電電流
Ni-Cd　0.3〜5.0A
Ni-MH　0.3〜5.0A
Li-Po　0.3〜4.0A
Pb　0.3〜5.0A
※0.1Aごとに設定可能

放電電流
Ni-Cd　0.3〜2.0A
Ni-MH　0.3〜2.0A
Li-Po　0.3〜2.0A
Pb　0.3〜2.0A
※0.1Aごとに設定可能

放電終了電圧
Ni-Cd　0.5〜14V
Ni-MH　0.5〜14V
Li-Po　3.0V , 6.0V , 9.0V , 12.0V から選択
Pb　1.8V , 5.4V , 10.8V から選択